

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員静岡県第6区選挙公報

静岡県選挙管理委員会

ひとりひとりは 微力かもしれない
だが、無力ではない 民意がくらしをかえる

私の決意

衆参で与野党が併用し、ガソリン価格の引き下げなど暮らしの負担軽減が進みました。高額医療費の自己負担見直し、公立小学校の給食無償化、幹事長に年50億円規模とされた不透明な政策活動費の廃止。民意によって、政治が変わり、暮らしが変わる。明るく、あたたかな世の中をつくるため、願いや思いをかたちにすべく、引き続き取り組んでまいります。

東部と伊豆は“東京24区” 安心で活力のある郷土づくり

- ①移住定住で人口増（令和5年度沼津378人伊東127人など）。
- リモートオフィスや起業拠点に保養所など既存施設リニューアル、ホテル旅館の空室利用で稼働と雇用を創出。
- ②伊豆縦貫道沼津下田間の早期完成、伊豆湘南道路推進、沼川放水路完成。
- ③ヘリポートの夜間照明設置など、災害時に用いる空と海からの自衛隊活動拠点を整備。
- ④東部にスポーツ拠点を創り、プロ・アマの公式戦、冬場は県外からキャンプや合宿を誘致。
- ⑤特色ある高校づくりで、県外からの「留学生」受け入れ（島根県モデル）。

日本の明るい未来のため

- ①食料品の消費税をゼロ。
- ②教育費と給食費の無償化。若者の奨学金負担をなくし少子化を止めます。
- ③最低保障の年金制度で先の人生に安心を。
- ④健康長寿を日本の成長産業に。医療機器や介護器具、環境衛生と生活向上を世界に輸出。
- ⑤中長期視点で可能性を見出し町工場を守ります。中小企業の社会保険負担の引き下げ。
- ⑥農林水産、実業学校を支援。一次産業従事者の所得保障、地産地消と戦略的輸出。

渡辺 周の経歴

(わたなべ しゅう)
沼津二小、沼津一中、沼津東高、早稲田大学政経学部卒業後に読売新聞記者。平成3年県議会議員、平成8年から衆議院議員。防衛副大臣、総務副大臣、拓殖大学客員教授、早稲田大学商議員など歴任。党政治改革推進本部長。

自民党「領土を守る議員連盟」事務局長、超党派「拉致対策議員連盟」会長代行、静岡県ボイスカウト副連盟長

わたなべ周
オフィシャルサイト
<https://watanabeshu.org>



わたなべ周
facebook



中道改革連合

わたなべ
周

昭和36年12月11日生まれ
(64才)



ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国に存する問題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験競争にもがき苦しめ、家族親や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せられるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え方行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

- 1 “集めて配る”より、まず減税
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
- 2 日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”
労働不足の解決を、安い移住民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地取得を制限します。
- 3 現場の人々が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

- 4 食は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。
- 5 エネルギーと資源確保が生命線
諸外国も見直しを進めてる脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
- 6 安心医療で健康国家
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えています。

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

- 7 子ども一人につき月10万円
0~15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。
- 8 受験戦争からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
- 9 日本はみんなの家
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党 とお書きください。

参政党の政策は
こちらの特設サイトから!

くるまど保教 プロフィール カリオルニア大学社会生物学部卒業。国際的な視点を持ちながら、地域の皆さんに暮らしに寄り添う活動を続けてきました。地域活動やボランティアを通じて、人と地域を大切にする姿勢を貫いています。静岡6区の未来を、皆さんと一緒に育てていきます。

参政党公認

くるまど保教
やすのり



沼津・駿東・伊豆から
「日本再生!」

かつまた孝明 自民党

今までも・これからも清廉潔白。雑草魂で挑む!

ふるさとの
観光と防災の両立へ。
この国を守り抜く!

かつまた孝明の「地方創生!」

- 毅然とした外交で国家の主権と領土を守る
- 明確な成長戦略で経済再生・雇用創出
- 働く女性、子育て世代を支援し少子化に歯止め
- 防災・減災・国土強靭化、南海トラフ地震に備えて
- 安心・確かな社会保障制度の確立
- 世界トップレベルの人材育成・教育改革
- 経済拡大と社会資本整備に向け、責任ある積極財政
- 農林水産業を守り、国土を守る

かつまた孝明は、党国土強靭化推進本部事務局長、党災害対策特別委員会副委員長として長年、実務の中心を担つてきました。今後とも先頭に立ち、間に迫る災害から国民の命を守り、ふるさとを守つてまいります。

子供たちの未来に
責任ある政治!

昭和51年 沼津市生まれ 49歳
(元農林水産副大臣)

かつまた孝明
たかあき

自民党公認



主なプロフィール

沼津市立門池小学校・中学校 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 修了
(経営学修士:MBA取得)
平成24年12月衆議院初当選以降 5期連続当選
農林水産副大臣、環境大臣政務官
●衆議院
外務委員会 委員長、予算委員会 理事
環境委員会 筆頭理事など多数
●自民党
選挙対策委員会 副委員長
国土強靭化推進本部 事務局長
災害対策特別委員会 副委員長
防災体制抜本的強化本部 副本部長
観光立国調査会 事務局長
住宅土地・都市政策調査会 事務局長など多数

家族

父(沼津市出身)・母親(伊豆市修善寺出身)
妻・長男・長女・次男

<https://www.t-katsumata.com>

かつまた孝明

検索

未来へと つなぐタスキは この一票

投票日は 2月8日(日)

投票
時間

午前7時から午後8時まで(一部地域を除く)



選挙のめいすいくん

投票日に仕事や旅行など予定がある方は
「期日前投票」をしましよう。

期日前投票 2月7日(土)まで

※国民審査の期日前投票は、2月1日(日)からとなります。

投票時間は原則として
午前8時30分から午後8時まで

◎投票の詳細につきましてはお住まいの市区町の選挙管理委員会にご確認ください。

静岡県選挙管理委員会・静岡県明るい選挙推進協議会